

第 11 回木質科学シンポジウム（2018 年）

「木は、まだまだ面白い」

開催趣旨：今世紀に入り世間の注目と期待を集めている「木材」にも、未だ未解明な課題が山積しております。このシンポジウムでは、これらの課題を精査・整理すると共に、最新の研究動向を新進気鋭の研究者に紹介して頂きます。

日 時：平成 30 年 6 月 23 日（土）14 時 50 分～17 時 40 分
会 場：東京大学弥生講堂アネックス・セイホクギャラリー
<<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.pdf>>

プログラム：

会長挨拶 14:50 - 14:55

講演 14:55 - 16:55（30 分×4 名）

栗野達也（京都大学大学院農学研究科）

「木材細胞壁における非セルロース性多糖類の免疫局在」

寺本好邦（岐阜大学応用生物科学部）

「複合化とプロセッシングを基軸としたバイオマス材料化学：
分野の深化・拡張を目指して」

松本久美子（北海道総合研究機構林産試験場）

「森だくさん 北の木遣い色々2018」

松尾美幸（名古屋大学大学院生命農学研究科）

「木材の湿熱回復 ～古くて新しい木質物性～」

パネル討論会 16:55 - 17:35

「木材の課題と今後の展開」 講師の先生方

司会：浦木康光（北海道大学大学院農学研究院）

閉会挨拶 17:35 - 17:40

参加費：無料

なお、18:00 より意見交換会を予定しております（別途会費(¥5,000)を頂きます）。